

1. 橋梁点検結果

静岡県定期点検及び道路橋定期点検を実施した結果を以下表に示す。

(橋)

管理方針	健全性の診断				合 計
	I	II	III	IV	
事後保全型	17	18	22	0	57
維持型	1	2	1	0	4
合 計	18	20	23	0	61

※対象橋梁 60 橋のうち橋梁番号 121. 先川橋については拡幅が認められるが、構造形式が同様なため便宜上 2 橋に分けて損傷評価を行った。

【考察】

- ・ III（早期措置段階）の橋梁は 23 橋であった。健全性を損ねる主要な損傷は主桁に生じる「剥離・鉄筋露出」及び「腐食」であった。

	剥離・鉄筋露出	腐食
健全性Ⅲの橋梁		

表. 主要な損傷と判定区分（代表例）

2. 健全性診断（代表損傷）

システムによって得られた判定の健全度Ⅱは判定区分を決める場合のばらつきを抑制するために設定した目安であるため、部材単位の健全性の診断は、着目する部材に生じた損傷が橋梁に及ぼす影響の観点から行う必要がある。そのため、システムの判定結果を踏まえて、点検員が再度その評価及び健全性判定基準を照査した。

(参考) 健全性の診断結果分類について

区 分			例示(イメージ)
I	健全	構造物の機能に支障が生じていない状態	
II	予防保全段階	構造物の機能に支障が生じていないが、 予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態	・適時適切な修繕により健全な状態に回復可能な損傷
III	早期措置段階	構造物の機能に支障が生じている可能性があり、 早期に措置を講ずべき状態	・海岸部など立地環境の厳しい場所で発生する塩害による断面欠損など放置すると(4~5年のうちに)致命的な状態になる損傷 ・大型車交通の影響による床版の損傷など放置すると(4~5年のうちに)緊急の対応が必要となる損傷
IV	緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、 緊急に措置を講ずべき状態	・床版の抜け落ちが発生する可能性があるなど緊急の修繕が必要な損傷 ・桁の PC ケーブル破断など致命的な損傷(落橋のおそれがあり通行止め等の必要)

次ページより、『総評』を含めた橋梁点検結果一覧表を添付する。

橋梁点検結果一覧表 1/7

番号	橋梁諸元								リスクマネジメント (道路橋点検要領)							総評		
	橋梁コード	橋梁名称	路線名称	主たる橋梁形式	径間数	橋長 (m)	建設年次	現場写真	健全度 II			変状の種類 (システム)	実際の損傷 (調査)	部材の判定区分		道路橋毎の健全性診断	健全度判定基準	損傷写真 (代表損傷)
									工種	部材	HI ₂			システム	点検員			
2	200240002-00	第2柴山橋	芝山線	RC床版橋	1	5.1	1958年		上部工	床版	100	—	—	I	I	III	主桁に剥離・鉄筋露出が生じ、主鉄筋の腐食が進行しているため早期措置段階と判断する。	
										主桁	16	剥離	ひびわれ	IV	III			
										横桁	100	—	—	I	I			
									下部工	100	—	—	I	I				
										100	—	—	I	I				
支承部	100	—	—	I	I													
その他	—	—	—	I	I													
12	100070012-00	赤川橋	坂下線	プレテン床版橋	1	9.9	1980年		上部工	床版	100	—	—	I	I	I	点検時に損傷は生じておらず、健全な状態と判断する。	
										主桁	100	—	—	I	I			
										横桁	100	—	—	I	I			
									下部工	100	—	—	I	I				
										100	—	—	I	I				
支承部	100	—	—	I	I													
その他	—	—	—	I	I													
15	360130015-00	浜橋	役場前線	RC床版橋	1	4.5	1967年		上部工	床版	100	—	—	I	I	I	下部工躯体の打ち継ぎ目に生じたクラックのため健全な状態であると判断する。	
										主桁	100	—	—	I	I			
										横桁	100	—	—	I	I			
									下部工	79	ひびわれ	ひびわれ	I	I				
										100	—	—	I	I				
支承部	100	—	—	I	I													
その他	—	—	—	I	I													
16	360520016-00	萩山橋	不動専川線	RC床版橋	1	3.8	不明		上部工	床版	100	—	—	I	I	III	主桁に剥離・鉄筋露出が生じ、主鉄筋の腐食が進行しているため早期措置段階と判断する。	
										主桁	49	剥離	ひびわれ	III	III			
										横桁	100	—	—	I	I			
									下部工	37	ひびわれ	ひびわれ	III	II				
										100	—	—	I	I				
支承部	100	—	—	I	I													
その他	—	—	—	I	I													
17	360540017-00	第1万田川橋	万田川線	その他 (鋼溶接橋)	1	5.3	不明		上部工	床版	33	腐食	腐食	III	III	III	鋼床版に腐食が生じ、局部的に断面欠損が発生しているため早期措置段階と判断する。	
										主桁	100	—	—	I	I			
										横桁	100	—	—	I	I			
									下部工	100	—	—	I	I				
										75	腐食	腐食	II	II				
支承部	—	—	—	I	I													
その他	—	—	—	I	I													
18	360120018-00	第2万田川橋	浜立沢線	RC床版橋	1	2.1	不明		上部工	床版	100	—	—	I	I	I	点検時に損傷は生じておらず、健全な状態と判断する。	
										主桁	100	—	—	I	I			
										横桁	100	—	—	I	I			
									下部工	100	—	—	I	I				
										100	—	—	I	I				
支承部	100	—	—	I	I													
その他	—	腐食	—	I	I													
20	360550020-00	萩山南橋	萩山南線	RC床版橋	1	4.6	不明		上部工	床版	100	—	—	I	I	II	下部工沓座端部に幅0.3mm以上のひびわれが生じているが、局部的なクラックであり構造物の機能障害は生じていないため予防保全段階と判断する。	
										主桁	57	遊離石灰	ひびわれ	II	II			
										横桁	100	—	—	I	I			
									下部工	37	剥離	ひびわれ	III	II				
										100	—	—	I	I				
支承部	100	—	—	I	I													
その他	—	—	—	I	I													
22	360120022-00	無名橋	浜立沢線	その他 (鋼溶接橋)	1	4.4	不明		上部工	床版	33	腐食	腐食	III	III	III	主桁・鋼床版が全体的に腐食し、局部的に板厚減少も生じている。そのため、早期措置段階と判断する。	
										主桁	20	腐食	腐食	IV	III			
										横桁	100	—	—	I	I			
									下部工	100	—	—	I	I				
										100	—	—	I	I				
支承部	100	—	—	I	I													
その他	—	—	—	I	I													
23	360600023-00	第2立沢橋	立沢萩山線	RC床版橋	1	3.0	不明		上部工	床版	100	—	—	I	I	I	点検時に損傷は生じておらず、健全な状態と判断する。	
										主桁	100	—	—	I	I			
										横桁	100	—	—	I	I			
									下部工	100	—	—	I	I				
										100	—	—	I	I				
支承部	100	—	—	I	I													
その他	—	—	—	I	I													

橋梁点検結果一覧表 2/7

番号	橋梁諸元								リスクマネジメント(道路橋点検要領)							総評		
	橋梁コード	橋梁名称	路線名称	主たる橋梁形式	径間数	橋長(m)	建設年次	現場写真	健全度Ⅱ			変状の種類(システム)	実際の損傷(調査)	部材の判定区分		道路橋毎の健全性診断	健全度判定基準	損傷写真(代表損傷)
									工種	部材	HI ₂			システム	点検員			
24	360600024-00	丸山橋	立沢萩山線	RC床版橋	1	5.8	不明		上部工	床版	100	—	—	I	I	Ⅱ	主桁に剥離・鉄筋露出が生じ、主鉄筋の腐食が進行している。ただし、損傷規模が小さいため予防保全段階と判断する。	
										主桁	57	剥離	ひびわれ	Ⅱ	Ⅱ			
										横桁	100	—	—	I	I			
										下部工	58	遊離石灰	ひびわれ	Ⅱ	Ⅱ			
										支承部	100	—	—	I	I			
25	360610025-00	第3立沢橋	立沢北線	RC床版橋	1	3.5	不明		上部工	床版	100	—	—	I	I	Ⅲ	下部工躯体側面に幅0.5mm以上のひびわれが生じている。打継ぎ目に生じた初期欠陥と推測されるが、損傷規模がおおきいため早期措置段階と判断する。	
										主桁	100	—	—	I	I			
										横桁	100	—	—	I	I			
										下部工	15	ひびわれ	ひびわれ	Ⅳ	Ⅲ			
										支承部	100	—	—	I	I			
26	360120026-00	第1立沢橋	浜立沢線	RC床版橋	1	1.8	不明		上部工	床版	100	—	—	I	I	Ⅲ	主桁に剥離・鉄筋露出が生じ、主鉄筋の腐食が進行しているため早期措置段階と判断する。	
										主桁	57	剥離	ひびわれ	Ⅱ	Ⅲ			
										横桁	100	—	—	I	I			
										下部工	37	剥離	ひびわれ	Ⅲ	Ⅱ			
										支承部	100	—	—	I	I			
29	361140029-00	薦池橋	月原横線	RC床版橋	1	3.0	不明		上部工	床版	100	—	—	I	I	Ⅲ	主桁に剥離・鉄筋露出が生じ、主鉄筋の腐食が進行しているため早期措置段階と判断する。	
										主桁	57	剥離	ひびわれ	Ⅲ	Ⅲ			
										横桁	100	—	—	I	I			
										下部工	15	ひびわれ	ひびわれ	Ⅳ	Ⅱ			
										支承部	100	—	—	I	I			
35	360190035-00	第1洞川橋	五反田別所線	RC床版橋	1	4.1	不明		上部工	床版	100	—	—	I	I	Ⅲ	主桁に剥離・鉄筋露出が生じ、主鉄筋の腐食が進行しているため早期措置段階と判断する。	
										主桁	49	剥離	ひびわれ	Ⅲ	Ⅲ			
										横桁	100	—	—	I	I			
										下部工	79	ひびわれ	ひびわれ	I	I			
										支承部	100	—	—	I	I			
36	360990036-00	第2洞川橋	洞線	RC床版橋	1	4.0	不明		上部工	床版	100	—	—	I	I	Ⅱ	主桁に剥離・鉄筋露出が生じ、主鉄筋の腐食が進行している。ただし、損傷規模が小さいため予防保全段階と判断する。	
										主桁	57	剥離	ひびわれ	Ⅱ	Ⅱ			
										横桁	100	—	—	I	I			
										下部工	100	—	—	I	I			
										支承部	100	—	—	I	I			
39	360320039-00	第2谷戸川橋	出崎神社線	ボックスカルバート	1	2.8	不明		上部工	床版	100	—	—	I	I	Ⅱ	主桁に剥離・鉄筋露出が生じている。ただし、主鉄筋ではないため構造物の機能障害には直結しないことから予防保全段階と判断する。	
										主桁	57	剥離	ひびわれ	Ⅱ	Ⅱ			
										横桁	100	—	—	I	I			
										下部工	100	—	—	I	I			
										支承部	100	—	—	I	I			
40	360080040-00	第1柴川橋	黄金崎柴線	RC床版橋	1	2.5	不明		上部工	床版	100	—	—	I	I	Ⅲ	主桁に剥離・鉄筋露出が生じ、主鉄筋の腐食が進行しているため早期措置段階と判断する。	
										主桁	8	剥離	ひびわれ	Ⅳ	Ⅲ			
										横桁	100	—	—	I	I			
										下部工	37	ひびわれ	ひびわれ	Ⅲ	Ⅱ			
										支承部	100	—	—	I	I			
41	360080041-00	第1谷戸川橋	黄金崎柴線	ボックスカルバート	1	2.2	不明		上部工	床版	100	—	—	I	I	Ⅰ	下部工躯体前面に幅0.1mm程度のひびわれが生じている。軽度な損傷のため健全な状態と判断する。	
										主桁	100	—	—	I	I			
										横桁	100	—	—	I	I			
										下部工	79	ひびわれ	ひびわれ	I	I			
										支承部	100	—	—	I	I			

橋梁点検結果一覧表 3/7

番号	橋梁諸元								リスクマネジメント(道路橋点検要領)							総評		
	橋梁コード	橋梁名称	路線名称	主たる橋梁形式	径間数	橋長(m)	建設年次	現場写真	健全度II			変状の種類(システム)	実際の損傷(調査)	部材の判定区分		道路橋毎の健全性診断	健全度判定基準	損傷写真(代表損傷)
									工種	部材	HI ₂			システム	点検員			
43	360200043-00	第4立沢橋	立沢線	RC床版橋	1	3.3	不明		上部工	床版	100	-	-	I	I	I	上部工に幅0.1mm程度のひびわれが生じている。軽度な損傷のため健全な状態と判断する。	
										主桁	92	ひびわれ	ひびわれ	I	I			
										横桁	100	-	-	I	I			
										下部工	100	-	-	I	I			
										支承部	100	-	-	I	I			
44	360200044-00	立沢洞橋	立沢線	RC床版橋	1	3.9	不明		上部工	床版	100	-	-	I	I	I	下部工躯体前面に幅0.1mm程度のひびわれが生じている。軽度な損傷のため健全な状態と判断する。	
										主桁	100	-	-	I	I			
										横桁	100	-	-	I	I			
										下部工	79	ひびわれ	ひびわれ	I	I			
										支承部	100	-	-	I	I			
47	200230047-00	第1梅の木沢橋	大沢里線	RC床版橋	1	2.5	不明		上部工	床版	100	-	-	I	I	I	点検時に損傷は生じておらず、健全な状態と判断する。	
										主桁	100	-	-	I	I			
										横桁	100	-	-	I	I			
										下部工	100	-	-	I	I			
										支承部	100	-	-	I	I			
48	200230048-00	第1須鎌橋	大沢里線	RC床版橋	1	3.8	不明		上部工	床版	100	-	-	I	I	III	主桁に剥離・鉄筋露出が生じ、主鉄筋の腐食が進行しているため早期措置段階と判断する。	
										主桁	16	剥離	ひびわれ	IV	III			
										横桁	100	-	-	I	I			
										下部工	100	-	-	I	I			
										支承部	100	-	-	I	I			
49	370680049-00	坂本浜橋	坂本海岸線	ボックスカルバート	1	3.0	不明		上部工	床版	100	-	-	I	I	III	主桁・下部工に剥離・鉄筋露出が生じ、主鉄筋の腐食が進行しているため早期措置段階と判断する。	
										主桁	16	剥離	ひびわれ	IV	III			
										横桁	100	-	-	I	I			
										下部工	29	剥離	ひびわれ	III	III			
										支承部	100	-	-	I	I			
50	370780050-00	坂本上橋	不来坂線	RC床版橋	1	2.6	不明		上部工	床版	100	-	-	I	I	II	主桁に剥離・鉄筋露出が生じ、主鉄筋の腐食が進行している。ただし、損傷規模が小さいため予防保全段階と判断する。	
										主桁	57	剥離	ひびわれ	II	II			
										横桁	100	-	-	I	I			
										下部工	100	-	-	I	I			
										支承部	100	-	-	I	I			
53	370050053-00	浜川橋	浦上八木線	プレテン床版橋	1	7.4	1977年		上部工	床版	100	-	-	I	I	II	下部工躯体前面に剥離・鉄筋露出が生じている。ただし、損傷規模が小さいため予防保全段階と判断する。	
										主桁	66	剥離	ひびわれ	II	II			
										横桁	100	-	-	I	I			
										下部工	15	剥離	ひびわれ	IV	II			
										支承部	75	-	-	I	I			
54	370670054-00	宮川浜橋(旧橋部)	安良里臨港線	プレテン床版橋	1	6.5	1974年		上部工	床版	100	-	-	I	I	I	下部工躯体前面に幅0.2mmのひびわれが生じている。ただし、局所的なクラックのため健全な状態と判断する。	
										主桁	100	-	-	I	I			
										横桁	100	-	-	I	I			
										下部工	79	ひびわれ	ひびわれ	I	I			
										支承部	100	-	-	I	I			
54	370670054-01	宮川浜橋(拡幅部)	安良里臨港線	RC床版橋	1	8.1	1974年		上部工	床版	100	-	-	I	I	I	点検時に損傷が確認されず、健全な状態と判断する。	
										主桁	100	-	-	I	I			
										横桁	100	-	-	I	I			
										下部工	100	-	-	I	I			
										支承部	100	-	-	I	I			

橋梁点検結果一覧表 4/7

番号	橋梁諸元								リスクマネジメント (道路橋点検要領)							総評		
	橋梁コード	橋梁名称	路線名称	主たる橋梁形式	径間数	橋長 (m)	建設年次	現場写真	健全度 II			変状の種類 (システム)	実際の損傷 (調査)	部材の判定区分		道路橋毎の健全性診断	健全度判定基準	損傷写真 (代表損傷)
									工種	部材	II ₂			システム	点検員			
55	370350055-00	向田橋	向田橋線	H形鋼 (非合成)	1	8.4	1974年		上部工	床版	24	腐食	腐食	IV	III	III	主桁・鋼床版が全体的に腐食している。また支承部周辺に板厚減少が生じているため早期措置段階と判断する。	
										主桁	20	腐食	腐食	IV	III			
										横桁	50	腐食	腐食	II	II			
										下部工	57	ひびわれ	ひびわれ	II	II			
										支承部	50	腐食	腐食	III	III			
56	370110056-00	龍泉寺橋	龍泉寺橋線	プレテン床版橋	1	7.1	1984年		上部工	床版	86	剥離	ひびわれ	I	I	II	下部工沓座前面に剥離・鉄筋露出が生じているが、局所的な損傷であり構造物の機能障害には直結しないため予防保全段階と判断する。	
										主桁	100	-	-	I	I			
										横桁	100	-	-	I	I			
										下部工	37	ひびわれ	ひびわれ	III	II			
										支承部	100	-	-	I	I			
57	370530057-00	宮ノ脇橋	不動尊線	RC床版橋	1	3.5	不明		上部工	床版	100	-	-	I	I	II	主桁に剥離・鉄筋露出が生じている。ただし、主鉄筋ではないため構造物の機能障害には直結しないことから予防保全段階と判断する。	
										主桁	57	剥離	ひびわれ	II	II			
										横桁	100	-	-	I	I			
										下部工	58	剥離	ひびわれ	II	II			
										支承部	100	-	-	I	I			
59	370670059-00	浦上橋(旧橋部)	安良里臨港線	RC床版橋	1	5.4	不明		上部工	床版	100	-	-	I	I	III	主桁に剥離・鉄筋露出が生じ、主鉄筋の腐食が進行しているため早期措置段階と判断する。	
										主桁	16	剥離	ひびわれ	IV	III			
59	370670059-01	浦上橋(拡幅部)	安良里臨港線	ボックスカルバート	1	5.8	不明		上部工	床版	100	-	-	I	I	II	主桁に剥離・鉄筋露出が生じている。ただし、主鉄筋ではないため構造物の機能障害には直結しないことから予防保全段階と判断する。	
										主桁	16	剥離	ひびわれ	IV	II			
68	310120068-00	丑越橋	今山線	RC床版橋	1	3.5	1960年		上部工	床版	100	-	-	I	I	III	主桁に剥離・鉄筋露出が生じ、主鉄筋の腐食が進行しているため早期措置段階と判断する。	
										主桁	33	剥離	ひびわれ	III	III			
										横桁	100	-	-	I	I			
										下部工	100	-	-	I	I			
										支承部	100	-	-	I	I			
71	200010071-00	浜橋	浜田峠線	プレテン床版橋	1	8.2	1967年		上部工	床版	100	-	-	I	I	II	主桁に剥離・鉄筋露出が生じている。ただし、主鉄筋ではないため構造物の機能障害には直結しないことから予防保全段階と判断する。	
										主桁	57	剥離	ひびわれ	II	II			
										横桁	100	-	-	I	I			
										下部工	100	-	-	I	I			
										支承部	100	-	-	I	I			
73	311160073-00	大田子2号橋	田子安良里線	RC床版橋	1	6.7	1964年		上部工	床版	100	-	-	I	I	II	主桁に剥離・鉄筋露出が生じている。ただし、主鉄筋ではないため構造物の機能障害には直結しないことから予防保全段階と判断する。	
										主桁	57	剥離	ひびわれ	II	II			
										横桁	100	-	-	I	I			
										下部工	100	-	-	I	I			
										支承部	100	-	-	I	I			
78	310150078-00	八戸洞橋	珠泉寺線	RC床版橋	1	4.0	不明		上部工	床版	100	-	-	I	I	II	主桁・下部工に幅0.3mm以上のひびわれが生じているが、局所的なクラックであり構造物の機能障害は生じていないため予防保全段階と判断する。	
										主桁	49	ひびわれ	ひびわれ	III	II			
										横桁	100	-	-	I	I			
										下部工	43	ひびわれ	ひびわれ	III	II			
										支承部	100	-	-	I	I			

橋梁点検結果一覧表 5/7

番号	橋梁諸元								リスクマネジメント(道路橋点検要領)							総評		
	橋梁コード	橋梁名称	路線名称	主たる橋梁形式	径間数	橋長(m)	建設年次	現場写真	健全度Ⅱ			変状の種類(システム)	実際の損傷(調査)	部材の判定区分		道路橋毎の健全性診断	健全度判定基準	損傷写真(代表損傷)
									工種	部材	HI ₂			システム	点検員			
81	310860081-00	港橋	川向海岸道線	プレテン床版橋	1	7.7	1982年		上部工	床版	93	遊離石灰	ひびわれ	I	I	II	下部工躯体前面に剥離・鉄筋露出が生じている。ただし、損傷規模が小さいため予防保全段階と判断する。	
										主桁	100	-	-	I	I			
										横桁	100	-	-	I	I			
									下部工	43	剥離	ひびわれ	III	II				
										支承部	100	-	-	I	I			
その他	-	-	-	-	I	I												
84	100040084-00	神明丁橋	川筋学校線	プレテン床版橋	1	10.3	1963年		上部工	床版	100	-	-	I	I	II	主桁・下部工躯体前面に剥離・鉄筋露出が生じている。ただし、損傷規模が小さいため予防保全段階と判断する。	
										主桁	57	剥離	ひびわれ	II	II			
										横桁	100	-	-	I	I			
									下部工	58	剥離	ひびわれ	II	II				
										支承部	100	-	-	I	I			
その他	-	-	-	-	I	I												
92	310900092-00	港小橋	月の浦1号線	その他(RC橋)	1	5.0	1966年		上部工	床版	100	-	-	I	I	III	主桁の広範囲に剥離・鉄筋露出が生じ、露出した主鉄筋の著しい腐食が発生しているため早期措置段階と判断する。	
										主桁	33	剥離	ひびわれ	III	III			
										横桁	100	-	-	I	I			
									下部工	68	ひびわれ	ひびわれ	II	II				
										支承部	100	-	-	I	I			
その他	-	-	-	-	I	I												
93	200040093-00	月の浦橋	井田地頭田線	RC床版橋	1	4.5	1963年		上部工	床版	100	-	-	I	I	III	主桁の広範囲に剥離・鉄筋露出が生じ、露出した主鉄筋の腐食が著しく内部鋼材の破断も数箇所発生しているため早期措置段階と判断する。	
										主桁	33	剥離	ひびわれ	III	III			
										横桁	100	-	-	I	I			
									下部工	72	剥離	ひびわれ	II	II				
										支承部	100	-	-	I	I			
その他	-	-	-	-	I	I												
94	311000094-00	長浜工倉橋	田子長浜工倉道線	RC床版橋	1	2.6	不明		上部工	床版	100	-	-	I	I	III	主桁に剥離・鉄筋露出が生じ、主鉄筋の腐食が進行しているため早期措置段階と判断する。	
										主桁	57	剥離	ひびわれ	III	III			
										横桁	100	-	-	I	I			
									下部工	100	-	-	I	I				
										支承部	100	-	-	I	I			
その他	-	-	-	-	I	I												
97	311080097-00	月の浦上橋	月の浦上線	RC床版橋	1	4.2	不明		上部工	床版	100	-	-	I	I	I	主桁・下部において遊離石灰が生じている。ただし、発生箇所が局部的であるため健全な状態と判断する。	
										主桁	57	剥離	ひびわれ	II	I			
										横桁	100	-	-	I	I			
									下部工	100	-	-	I	I				
										支承部	100	-	-	I	I			
その他	-	-	-	-	I	I												
98	100040098-00	河内橋BOX	川筋学校線	ボックスカルバート	1	5.8	不明		上部工	床版	100	-	-	I	I	II	上部工に剥離・鉄筋露出が生じている。ただし、損傷規模が小さいため予防保全段階と判断する。	
										主桁	57	剥離	ひびわれ	II	II			
										横桁	100	-	-	I	I			
									下部工	47	剥離	ひびわれ	III	II				
										支承部	100	-	-	I	I			
その他	-	-	-	-	I	I												
100	200160100-00	谷戸沢下橋	一色水ノ段線	RC床版橋	1	5.1	1971年		上部工	床版	100	-	-	I	I	III	下部工背面の土砂が崩壊しており、構造物本体にも支障が生じる可能性があるため早期措置段階と判断する。	
										主桁	100	-	-	I	I			
										横桁	100	-	-	I	I			
									下部工	14	剥離	ひびわれ	IV	III				
										支承部	100	-	-	I	I			
その他	-	-	-	-	I	I												
102	200160102-00	谷戸沢上橋	一色水ノ段線	RC床版橋	1	4.5	不明		上部工	床版	100	-	-	I	I	III	主桁に剥離・鉄筋露出が生じ、主鉄筋の腐食が進行しているため早期措置段階と判断する。	
										主桁	49	剥離	ひびわれ	III	III			
										横桁	100	-	-	I	I			
									下部工	100	-	-	I	I				
										支承部	100	-	-	I	I			
その他	-	-	-	-	I	I												

橋梁点検結果一覧表 6/7

番号	橋梁諸元								リスクマネジメント (道路橋点検要領)							総評		
	橋梁コード	橋梁名称	路線名称	主たる橋梁形式	径間数	橋長 (m)	建設年次	現場写真	健全度 II			変状の種類 (システム)	実際の損傷 (調査)	部材の判定区分		道路橋毎の健全性診断	健全度判定基準	損傷写真 (代表損傷)
									工種	部材	HI ₂			システム	点検員			
107	340130107-00	谷戸口橋	堀坂中央道枝2号線	RC床版橋	1	7.1	1985年		上部工	床版	100	—	—	I	I	I	主桁に幅0.1mm程度のひびわれが生じている。軽度な損傷のため健全な状態と判断する。	
										主桁	92	ひびわれ	ひびわれ	I	I			
										横桁	100	—	—	I	I			
										下部工	100	—	—	I	I			
										支承部	100	—	—	I	I			
その他	—	—	—	I	I													
108	340140108-00	中央橋	堀坂中央道線	RC床版橋	1	7.4	1985年		上部工	床版	100	—	—	I	I	II	下部工に幅0.3mm以上のひびわれが生じているが、打継ぎ目に生じた局部的なクラックであり構造物の機能障害は生じていないため予防保全段階と判断する。	
										主桁	92	ひびわれ	ひびわれ	I	I			
										横桁	100	—	—	I	I			
										下部工	79	ひびわれ	ひびわれ	I	II			
										支承部	100	—	—	I	I			
その他	—	—	—	I	I													
109	340180109-00	堀坂橋	堀坂新道線	RCT桁橋	1	6.4	不明		上部工	床版	86	剥離	ひびわれ	I	I	III	主桁に幅0.4~0.5mmのひびわれが生じている。橋軸方向のひびわれのため、鉄筋量の不足が推測される。また、内部鋼材の腐食も進行しているため早期措置段階と判断する。	
										主桁	24	ひびわれ	ひびわれ	IV	III			
										横桁	50	剥離	ひびわれ	II	II			
										下部工	100	—	—	I	I			
										支承部	100	—	—	I	I			
その他	—	—	—	I	I													
112	340050112-00	岩谷戸橋2号BOX	海名野堀坂新道線	ボックスカルバート	1	4.6	1979年		上部工	床版	100	—	—	I	I	I	点検時に損傷が確認されず、健全な状態と判断する。	
										主桁	100	—	—	I	I			
										横桁	100	—	—	I	I			
										下部工	100	—	—	I	I			
										支承部	100	—	—	I	I			
その他	—	欠損	—	I	I													
113	200140113-00	川原橋	海名野堀坂線	その他 (鋼溶接橋)	1	5.5	1977年		上部工	床版	33	腐食	腐食	III	II	II	主桁表面に全体的な腐食が生じているが著しい板厚減少は視認できない。構造物の機能障害は生じていないため予防保全段階と判断する。	
										主桁	100	—	—	I	I			
										横桁	100	—	—	I	I			
										下部工	100	—	—	I	I			
										支承部	100	—	—	I	I			
その他	—	—	—	I	I													
115	200140115-00	岩谷戸橋1号BOX	海名野堀坂線	ボックスカルバート	1	3.0	1979年		上部工	床版	100	—	—	I	I	I	点検時に損傷が確認されず、健全な状態と判断する。	
										主桁	100	—	—	I	I			
										横桁	100	—	—	I	I			
										下部工	100	—	—	I	I			
										支承部	100	—	—	I	I			
その他	—	—	—	I	I													
116	320350116-00	沢田洞橋	沢田7号線	RC床版橋	1	3.1	不明		上部工	床版	100	剥離	ひびわれ	IV	III	III	主桁に剥離・鉄筋露出が生じ、主鉄筋の腐食が進行しているため早期措置段階と判断する。	
										主桁	16	剥離	ひびわれ	IV	III			
										横桁	100	—	—	I	I			
										下部工	43	剥離	ひびわれ	III	II			
										支承部	100	—	—	I	I			
その他	—	—	—	I	I													
118	320230118-00	波橋	沢田波川線	RC床版橋	1	3.3	1973年		上部工	床版	100	剥離	ひびわれ	IV	III	III	主桁に剥離・鉄筋露出が生じ、主鉄筋の腐食が進行しているため早期措置段階と判断する。	
										主桁	16	剥離	ひびわれ	IV	III			
										横桁	100	—	—	I	I			
										下部工	37	剥離	ひびわれ	III	II			
										支承部	100	—	—	I	I			
その他	—	—	—	I	I													
119	100020119-00	小山家橋	浜野畑線	RC床版橋	1	2.4	1970年		上部工	床版	100	剥離	ひびわれ	III	II	II	主桁に剥離・鉄筋露出が生じ、主鉄筋の腐食が進行している。ただし、損傷規模が小さいため予防保全段階と判断する。	
										主桁	33	剥離	ひびわれ	III	II			
										横桁	100	—	—	I	I			
										下部工	100	—	—	I	I			
										支承部	100	—	—	I	I			
その他	—	路面の凹凸	—	I	I													

橋梁点検結果一覧表 7/7

番号	橋梁諸元								リスクマネジメント(道路橋点検要領)							総評		
	橋梁コード	橋梁名称	路線名称	主たる橋梁形式	径間数	橋長(m)	建設年次	現場写真	健全度II			変状の種類(システム)	実際の損傷(調書)	部材の判定区分		道路橋毎の健全性診断	健全度判定基準	損傷写真(代表損傷)
									工種	部材	HI ₂			システム	点検員			
121	200110121-01	先川橋(旧橋部)	浜寺川線	RC床版橋	1	3.1	1969年		上部工	床版	100	-	-	I	I	II	下部工沓座端部に幅0.3mm以上のひびわれが生じているが、局所的なクラックであり構造物の機能障害は生じていないため予防保全段階と判断する。	
										主桁	100	-	-	I	I			
										横桁	100	-	-	I	I			
									下部工	79	ひびわれ	ひびわれ	I	II				
									支承部	100	-	-	I	I				
その他	-	-	-	I	I													
121	200110121-02	先川橋(拡幅部)	浜寺川線	RC床版橋	1	2.2	1969年		上部工	床版	100	-	-	I	I	I	点検時に損傷が確認されず、健全な状態と判断する。	
										主桁	100	-	-	I	I			
										横桁	100	-	-	I	I			
									下部工	100	-	-	I	I				
									支承部	100	-	-	I	I				
その他	-	-	-	I	I													
125	100010125-00	あずま橋	浜新道線	プレテン床版橋	1	4.0	1973年		上部工	床版	100	-	-	I	I	I	点検時に損傷が確認されず、健全な状態と判断する。	
										主桁	100	-	-	I	I			
										横桁	100	-	-	I	I			
									下部工	100	-	-	I	I				
									支承部	100	-	-	I	I				
その他	-	-	-	I	I													
133	200100133-00	安城橋	高砂線	プレテン床版橋	1	10.4	1969年		上部工	床版	93	遊離石灰	ひびわれ	I	I	I	主桁・下部工において遊離石灰が生じている。ただし、発生箇所が局所的であるため健全な状態と判断する。	
										主桁	100	-	-	I	I			
										横桁	100	-	-	I	I			
									下部工	86	遊離石灰	ひびわれ	I	I				
									支承部	100	-	-	I	I				
その他	-	-	-	I	I													
134	330180134-00	基堂橋	中耕地1号線	その他(鋼溶接橋)	1	3.2	不明		上部工	床版	100	-	-	I	I	III	主桁・鋼床版が全体的に腐食し、局所的に板厚減少も生じている。そのため、早期措置段階と判断する。	
										主桁	20	腐食	腐食	IV	III			
										横桁	100	-	-	I	I			
									下部工	100	-	-	I	I				
									支承部	100	-	-	I	I				
その他	-	-	-	I	I													
141	321130141-00	西耕地橋	南耕地2号線	プレテン床版橋	1	4.8	1969年		上部工	床版	100	-	-	I	I	I	点検時に損傷が確認されず、健全な状態と判断する。	
										主桁	100	-	-	I	I			
										横桁	100	-	-	I	I			
									下部工	100	-	-	I	I				
									支承部	100	-	-	I	I				
その他	-	剥離	-	I	I													
143	330310143-00	延命寺橋	延命寺線	その他(石橋)	1	6.4	1935年		上部工	床版	100	-	-	I	I	II	主桁に剥離・鉄筋露出が生じている。ただし、主鉄筋ではないため構造物の機能障害には直結しないことから予防保全段階と判断する。	
										主桁	57	剥離	ひびわれ	II	II			
										横桁	100	-	-	I	I			
									下部工	100	-	-	I	I				
									支承部	100	-	-	I	I				
その他	-	-	-	I	I													